

【ゴミステーションの管理やゴミ出しマナーの改善方法について】事例提供

No.	提供委員名	提供事例	備考
1	田巻委員	<p>◎リユース食器の活用</p> <p>当コミ協では、毎年暮れに「歳末ふれあいお楽しみ会」を開催し、地域住民に喜ばれています。その内容は、関屋六階節保存会による民謡や管内の小中学校の児童・生徒さんによる合唱や器楽演奏などがメインですが、併せて「餅つき大会」も大変好評です。会場内で杵と臼で餅つきをし、つきたての餅を「黄な粉餅」と「雑煮餅」を参加者のみなさんにふるまいます。</p> <p>その際に、以前はプラスチック製のトレイ及び割り箸を購入し使っていました。ところが食べ終わった後の後始末が大変で、トレイ、割り箸及び食べ残しの残飯の分別処理が大変でした。そこで、担当の福祉部会で話し合い、「新潟市リユース食器普及事業」によるリユース食器を活用することになりました。手続きも簡単で、使用した食器を洗って返却する必要もなく、不思議なことに残飯がほとんど出ませんでした。＜利用食器内訳：深皿…300枚、お椀…300個、箸…300膳＞</p> <p>終了後のアンケート調査結果では、「食器を洗わなくて済みとても楽でした」、「皿、お椀及び箸をそれぞれ300個、計900個借用したが、破損及び紛失は1個もなく補償金（1個につき100～200円）を支払う必要がなかったのでホッとした」と意見が出されました。</p> <p>ゴミは出すと様々な問題が発生しますが、できるだけ出さないように工夫することが大切であることを今回の「リユース食器」の活用を通じて実感した次第です。なお、残念なことに「新潟市リユース食器普及事業」は平成29年度で終了しました。したがって、今後は有料になりますので、担当の福祉部会へ検討を依頼する予定です。</p>	
2	田巻委員	<p>◎ごみステーションの管理分担方法の変更</p> <p>従前の申し合わせ事項（H13～29）では、ゴミステーションの設置当番は1週間単位で、A-B-C-F-E-Dとし、A～Fは自宅敷地内及び地先に折りたたみ式ゴミ収集箱（以下「収集箱」という。）の設置のみを担当する。A～Fは、各自宅前に収集箱を設置するにあたり所有する自家用車を移動する必要がある場合は、P駐車場（関係する班で借用）を利用する。Gは、Aが当番の日にゴミ収集車の収集が終わった後、収集箱の撤去及び清掃を行う。同様に、HはBが当番の日に、IはCが当番の日にそれぞれ撤収及び清掃を行う。</p> <p>しかしながら、P駐車場に住宅が新築されたことに伴い、駐車場の利用ができなくなったことから、申し合わせ事項を変更（H30～）し、A～Fは、当番の日に収集箱の設置、撤収及び清掃を担当する。G～Iが担当する業務はないため、会費100円（月・戸）を納入する。A～Fに対して1週間単位で会費から謝礼を支払う。</p>	
3	渡邊委員	<p>◎ごみ出し支援活動について</p> <p>マナー改善ではないが、中央区において、高齢や障がいなどの理由でゴミを出しづらい方を地域で支える「ごみ出し支援活動」を行う団体は約60箇所（把握しているだけでも）ある。そのほとんどは自治会・町内会だが、年々こうした活動が広がりつつある。</p>	
4	高岡委員	<p>◎ゴミステーションの設置場所変更</p> <p>少し前のことですが、比較的交通の多いところがありました。通過する車からのポイ捨てが多く、量も多く散乱しておりました。後始末も手間取り、困っておりました。そこで、通りを一つ住宅地の方に移動したところ、ポイ捨てと見られるゴミもなく、キッチンとおさまり、周囲もきれいに感じます。</p> <p>町内で戸建住宅が多いのもあるかもしれませんが、クリーン作戦で町内めぐりをしましたが、ゴミがなく、ホッとしたり、ものたりないと思ったりでした。</p>	
5	大滝委員	<p>◎ゴミステーションの管理方法</p> <p>集合住宅に住んでいますので、管理人さんがきちんと管理してくださっています。別棟で鍵無しで自由に（曜日を守って）捨てています。分別が守られていないときには、管理人さんが写真に撮って、各エレベーター前に「違反ゴミ」として貼り出しますので、良く守られています。</p>	
6	後藤委員	<p>◎ゴミステーションの管理方法</p> <p>マンションなので管理人さんがきちんと管理してくださっています。鍵付きのゴミステーションで、その鍵はマンションの部屋の鍵で開閉できます。ゴミ収集日、朝一番の住人がだいたい6時に開けたらそのままにしておき、ゴミ収集車がゴミを持って行ったら管理人さんが鍵を閉めるというシステムになっています。</p>	